

応募の手順

- 1 実践発表の希望者・施設は、同封の「実践発表申込用紙」により、**2011年10月28日(金)必着**にて、「実行委員会事務局」にお申し込みください。
- 2 発表申込者・施設が多数で、発表時間並びに会場の関係でお断りをする場合は、**先着順**で決定させていただきます。**2011年11月中旬ごろ**に決定通知を送いたします。
- 3 発表決定者・施設は、当日資料にレジュメを掲載いたしますので、決定通知に同封の様式にしたがって、**2012年1月13日(金)必着**にて、ご提出してください。
- 4 「ステージ発表」並びに「ポスター展示・説明者」は、**セミナーへの参加が必要になります。**
決定通知に同封する参加者募集要綱にて、セミナーのお申し込みを行ってください。

実践発表にあたっての留意事項

お申し込み

- 発表形態を「ステージ発表」または「ポスター展示・説明」から選択し、ご希望の形態を申込用紙にご記入ください。
(両方の形態をお申し込みいただくこともできます)【**申込期限:2011年10月28日(金)**】
- 申込用紙は1発表につき1枚ご記入ください。
「ステージ発表」「ポスター展示・説明」の両方にお申し込みの場合は、各報告につき1枚ずつご記入ください。
- 発表のテーマ、内容を検討のうえ、事務局においてご希望の部門を変更させていただく場合もありますので、ご承知おきください。

発表準備

- 指定用紙への記入、図面及び勤務表の提出
[提出期限:2012年1月13日(金)]
- 発表時にパワーポイントを使用する場合の
データの提出(使用する場合のみ)
[提出期限:2012年2月10日(金)]

発表時間

- 3月10日(土)午後のうち、後日指定する25分間
(質疑応答時間5分を含む)
- 発表テーマは前頁に掲載しております**11部門**となります。1テーマを選択し、実践発表申込用紙へ必要事項をご記入・ご返送ください。
- パワーポイントを使用される場合は、申込用紙に必要事項を記入してください。
発表申込時に希望した機材以外の用意はできませんので、あらかじめご了承ください。
- 当日資料用のレジュメを期日までに提出されなかった場合は、**発表の意思のないものとして準備を進めますので、ご注意ください。**
- 1発表20分以内とし、最低5分以上の質疑の時間を確保してください。(合計25分間)。

ポスター展示・説明

- 指定の大きさ(縦180cm×横90cm)の
ポスターを作成
当日持参し、事務局指定のパネルに貼付。

- 展示期間:3月10日(土)
10日の質疑応答の時間には、ポスターの傍らにお立ちください。
- 発表テーマは自由に設定ください。
- ポスター展示・説明は、会場備え付けのパネル1枚(縦180cm×横90cm)に実践事例などを展示して、実践事例提供者と参加者が質疑応答などを行うものです。ポスター説明の時間帯は、ご自身のポスター付近にお立ちください。
- ポスター前に長机を1本用意いたします。パンフレット、物品等を置くことができます。
- パソコンやビデオ等でプレゼンテーションをされる場合は電源を用意いたしますので、申込用紙にその旨をご記入ください。
発表申込時に希望されなかった場合は、その後に用意することはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ポスターは当日お持ちいただき、発表者ご自身で展示・撤収いただきます。

発表のお申し込み先・セミナーに関するお問い合わせ先

実践発表のお申し込みは、同封の申込書にて、下記あてにお願いいたします。
なお、大会参加のお申し込みは、後日お送りいたします開催要綱をご覧ください。

気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会

事務局／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 担当：田村・島田・高木
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16番30号 シンエイ木町ビル1階

TEL:022-727-8732 FAX:022-727-8737

E-mail unit@clc-japan.com URL http://www.clc-japan.com/unit_care/

ユニットケアの 実践発表大募集!

第11回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー in神戸

2012年3月10日(土)～11日(日)

神戸学院大学 有瀬キャンパス

[〒651-2180 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬518]



主催：気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会
共催：神戸学院大学／特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」は、2001年の岡山県笠岡市をスタートに、これまで全国7か所で全10回が開催され、毎回、多数の実践現場から、日々の取り組みが発表されてきました。ひとくちにユニットケアと言っても、その取り組みは施設によって実にさまざまです。既存施設を活用しながら、試行錯誤を重ねてようやくユニットケアに至った取り組みがある一方、真新しいユニット型ハードが整っていながら、ケアの質が追いつかず、職員もお年寄りも疲れてしまった例もあります。

このセミナーは、「ユニットケアの基本は現場の実践にある」との考えから、現場のスタッフがケアのあり方やスタッフの育成、施設と地域との連携などの実践をまとめ、伝え合い、交わり合い、より良いものにしていく場として開催します。このセミナーでの発表を機に、「お年寄りの表情が変わった」「職員の姿勢が変わった」「ケアが変わった」など、数多くの感想が寄せられています。

第11回目となる今回も、全国の実践発表を通して、発表者と参加者がともに学び、考え合う場とすることを目的とし、神戸学院大学を会場に開催いたします。

過去の 実績

	日 時	開 催 地	発 表 数	参 加 人 数
第 1 回	2001年 12月 1日～ 2日	岡山県笠岡市	34発表	1,000人
第 2 回	2003年 3月22日～23日	山口県山口市	70発表	1,200人
第 3 回	2004年 1月17日～18日	沖縄県宜野湾市	114発表	1,000人
第 4 回	2004年 7月26日～27日	北海道札幌市	132発表	1,400人
第 5 回	2005年 12月 4日～ 5日	京都府京都市	185発表	1,500人
第 6 回	2007年 2月10日～11日	高知県高知市	118発表	900人
第 7 回	2008年 3月15日～16日	兵庫県神戸市	145発表	1,100人
第 8 回	2009年 3月14日～15日	兵庫県神戸市	138発表	900人
第 9 回	2010年 3月13日～14日	兵庫県神戸市	140発表	1,000人
第10回	2011年 3月12日～13日	兵庫県神戸市	155発表	850人

発表募集 テーマ

第11回 今年度 部門テーマ

第1部門

私たちがはじめた、一人ひとりを大切にする ケアの取り組みで変わった施設ケア（初級編）

ユニットケアに取り組むことになったきっかけや、取り組みのなかで失敗してしまったこと、悩んだことなどの体験談、また取り組みから気づいたことと見えてきたことなどについての発表を募集します。

第2部門

一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫（基礎編）

ユニットケアで3大介護（食事・入浴・排泄の介護）はどのように変わるのか。3大介護にまつわる苦労や工夫について、発表を募集します。

第3部門

“食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし

食事づくりや場づくり、買い物や外食、栄養マネジメントや口腔ケアなど、その人らしい豊かな暮らしを目指す取り組みの発表を募集します。

第4部門

これまでの暮らしの継続を大切にしたい生活環境づくり

豊かに暮らすためには生活環境も欠かすことのできない要素の一つです。これまで暮らしてきた環境をできる限り変えないための居室の設え、既存施設の改修や改築の工夫、また新型施設ならではの設えの工夫などの発表を募集します。

第5部門

記録やケアプランの工夫、情報共有のすすめ方

ケアプランやケア記録無しには、個別ケアをすすめることはできません。その人らしい暮らしを支えるためのケアプランやケア記録の工夫、記録のとり方、また記録を活用し、家族や職員が情報共有しながら築き上げる信頼関係づくりなどの発表を募集します。

第11回 大会概要

■開 催 日：2012年3月10日(土)～3月11日(日)

■会 場：神戸学院大学 有瀬キャンパス
〒651-2180 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬518

■定 員：800人

■発表者参加費：お一人 13,000円^(発表者割引適用)

※1発表につき、お二人まで割引となります。

※一般参加費 15,000円

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会交流会員 13,000円
(法人会員はお二人様まで、個人会員はお一人まで、会員割引が適用)

特養・老健・医療施設 ユニットケア研究会とは・・・

宅老所など小規模ケアの実践を大規模施設の中に取り込み、大規模施設の中でできるだけ地域の普通の暮らしを実現しようという実践から、「ユニットケア」は誕生しました。

「特養・老健・医療施設ユニットケア研究会」は、こうして組み立ててきたユニットケアの実証的研究と普及促進を目指して、実践者と研究者の有志によって、1999年春に発足しました。

交流会員募集中！

ホームページ http://www.clc-japan.com/unit_care/

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会では、ユニットケアに関するさまざまな情報交換を行う場として、交流会を設置しています。

会員情報誌「月刊ユニットケア」の発行やセミナー参加時の割引など、会員ならではのサービスもあります。この機会にぜひ交流会員になってみませんか。

第6部門

ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと

施設は、日々の暮らしを過ごすだけではなく、人生の最期の場となる時もあります。「施設での看取りのあり方」「医療機関との連携」「看取ることを通して築かれた家族との絆」など、施設におけるターミナルケアの発表を募集します。

第7部門

リーダーの悩みと工夫、育成と支援の方法

ユニットごとで、ケアの質に大きな差が生じることがあります。そのために、ユニットの要となるリーダーが悩み苦しむ時があります。そうならないために、リーダーを支えながら育てていく工夫や、リーダー自らの取り組みなどの発表を募集します。

第8部門

一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携

一人ひとりの暮らしを支えるには、その方向性や情報を共有するチームの構築や職種を超えた連携が必要不可欠です。時には、施設を越えた連携や協働も必要になります。ケアに関わる専門職同士が協力しながら、利用者の暮らしを、より豊かにする取り組みの発表を募集します。

第9部門

ユニットケアを支える職員育成・組織づくりや管理者の役割

職員一人ひとりの気づきを大切にする新人教育や職員育成、職員それぞれが成長できる組織づくりの工夫、また利用者に近い職員が迅速かつ柔軟に判断し、対応できるような組織の改革、そのために必須となる管理者の役割などの発表を募集します。

第10部門

職員のやる気とやりがいを大切にする工夫とその評価

昨今、ケアの現場では人手不足が深刻な問題となっています。職員がやる気をだし、自分の仕事にやりがいを感じるための工夫や取り組みとともに、そうした職員の評価や方法などについての発表を募集します。

第11部門

震災に学ぶ・備える・取り組む ―― 被災地域の施設の役割とこれから

大きな震災がおこるたびに、多くの福祉施設やその職員が被災者となる一方、避難所としての役割を果たし、在宅で被災した地域の要援護者の支援に翻弄しました。大規模災害での施設の取り組みについての発表を募集します。